FUJIFILM

FOTOJOY

DIGITAL CAMERA

FinePix 1200

1.3 MEGA PIXELS



使 用 説 明 書

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス1200の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

目　次

4 応用編 再生

5 応用編 その他

1
2
3
4
5

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やデータの記録されたメモリーカード（スマートメディア）の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- **皮膚に付着した場合：**
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- **目に入った場合：**
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- **飲み込んだ場合：**
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本カメラはクラスB情報技術装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しています。しかし本カメラをラジオ、テレビジョン受信機に近づけてお使いになると、受信障害の原因となることがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この機器を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像データが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

- iMac、Macintoshは、Apple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

カメラの特長 / 付属品

主な特長

- ●131万画素CCDと高解像度フジノンレンズによる高画質
- ●記録画素数 最大1,280×960ピクセル
- ●コンパクト軽量ボディー
- ●1.6インチカラー液晶
- ●広範囲な撮影領域（マクロ撮影機能付き）
- ●高精度でワイドレンジな調光が可能なオートストロボ内蔵
- ●撮影条件の細かな設定が可能なマニュアル撮影モード
- ●デジタル2×拡大撮影機能/1.2〜4倍ズーム再生機能
- ●モードダイヤルと十字ボタンによる簡単操作
- ●大容量メモリーカード・スマートメディア（SmartMedia™）対応
- ●撮影日時の記録・再生機能
- ●パソコンとの画像データの送受信が可能なPCモード
- ●業界統一規格DCF*準拠
  ＊DCFは日本電子工業振興協会（JEIDA）で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
- ●DPOF（Digital Print Order Format）対応でプリント注文が簡単に

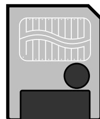
※フロッピーディスクアダプター FD-A2B、イメージメモリーカードリーダー SM-R1、PCカードアダプター PC-AD3Bを使えば、パソコンとの連携も一層便利です。

付属品

●単3形アルカリ乾電池 LR6（4本）

●スマートメディア MG-4S（1枚）

付属品：
静電気防止ケース（1個）
インデックスラベル（1組）
ライトプロテクトシール（1組）



●ハンドストラップ（1本）



●インターフェースセット（1式）

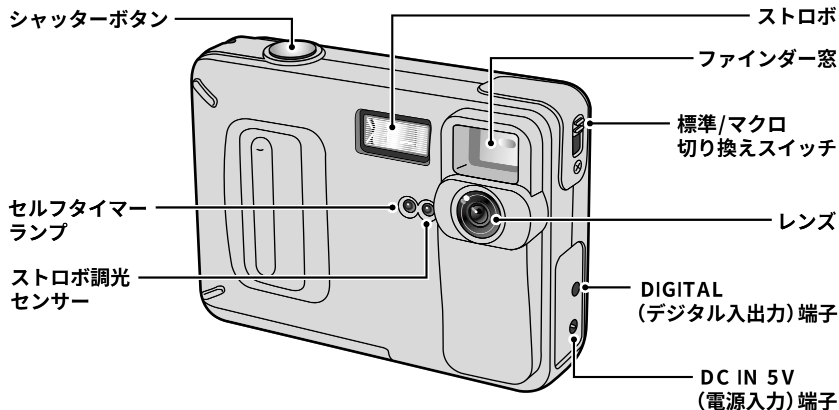
- CD-ROM：Software for Fujifilm Digital Camera（1枚）
- IBM PC/AT互換機（DOS/V機）用シリアルケーブル（1本）
- PC98用シリアルケーブル（1本）
- Macintosh用シリアルケーブル（1本）
- 簡単操作ガイド（1部）

●使用説明書（本書 1部）

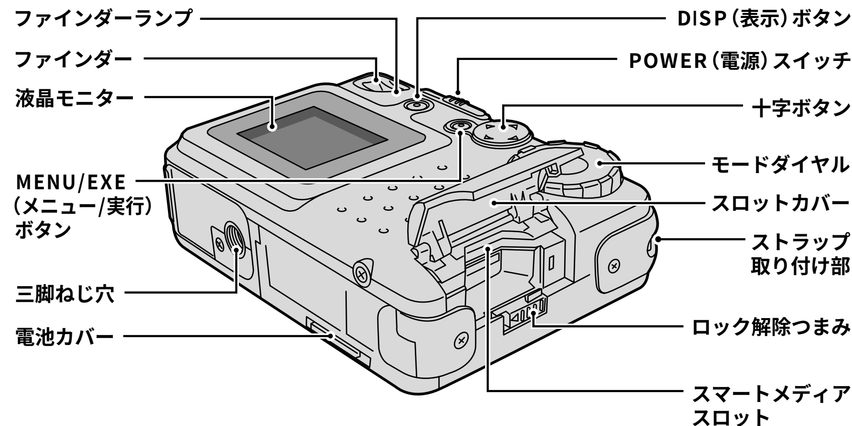
●安全上のご注意（1部）

●保証書（1部）

各部の名称

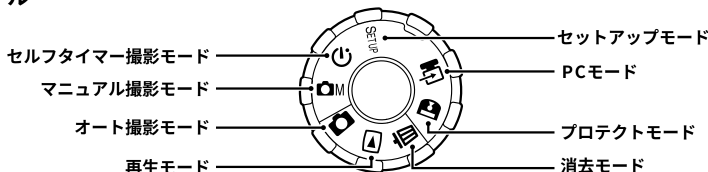


シャッターボタン
ストロボ
ファインダー窓
標準/マクロ
切り換えスイッチ
セルフタイマー
ランプ
レンズ
ストロボ調光
センサー
DIGITAL
（デジタル入出力）端子
DC IN 5V
（電源入力）端子


ファインダーランプ
ファインダー
液晶モニター
MENU/EXE
（メニュー/実行）
ボタン
三脚ねじ穴
電池カバー
DISP（表示）ボタン
POWER（電源）スイッチ
十字ボタン
モードダイヤル
スロットカバー
ストラップ
取り付け部
ロック解除つまみ
スマートメディア
スロット

各部の名称

モードダイヤル



SETUP ：**セットアップモード（➡41ページ）**
QUALITY（クオリティー）、FILE SIZE（ピクセル）、SHARPNESS（シャープネス）、FRAME NO.（コマNo.メモリー）、BEEP（ブザー音）、DATE/TIME（日時）、RESET（リセット）の設定ができます。

：**セルフタイマー撮影モード（➡39ページ）**
約10秒のセルフタイマー撮影ができます。

M ：**マニュアル撮影モード（➡35ページ）**
撮影画像を確認したあとに記録できます。またストロボモード、ホワイトバランス、明るさ（露出）の設定ができます。

：**オート撮影モード（➡20ページ）**
撮影状況に応じて露出などをカメラが自動的に制御する、簡単で使いやすい撮影方法です。

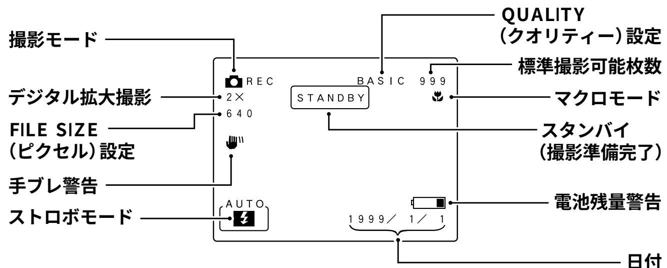
：**再生モード（➡26、44ページ）**
通常の1コマ再生の他に再生ズーム、マルチ再生ができます。その他、プレイバック、リサイズ、DPOF機能の設定ができます。

：**消去モード（➡27、56ページ）**
1コマ消去、全コマ消去、スマートメディアのフォーマット（初期化）ができます。

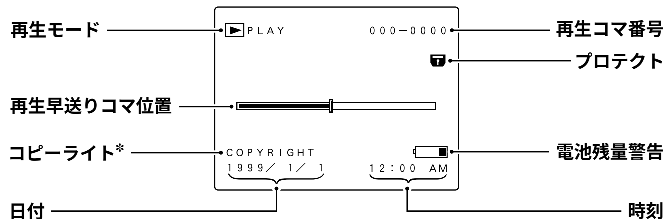
：**プロテクトモード（➡58ページ）**
1コマのプロテクト指定/解除、全コマのプロテクト指定/解除ができます。

：**PCモード（➡62ページ）**
付属のソフトウェアを使って、パソコンに画像を取り込むときに使用します。

液晶モニターの文字表示例：撮影

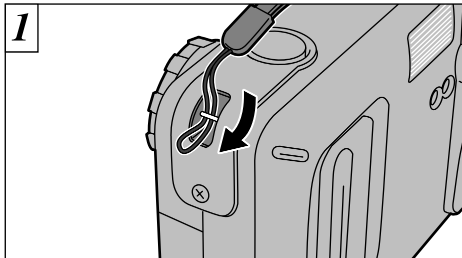


液晶モニターの文字表示例：再生

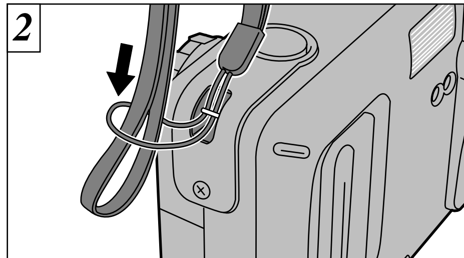


＊コピーライトは付属のソフトウェアで、著作権情報を入力したカメラで撮影した画像のときに表示されます。詳しくはソフトウェアの使用説明書をご覧ください。

ストラップを取り付けます



ストラップの小さい方の輪を、ストラップ取り付け部に通します。

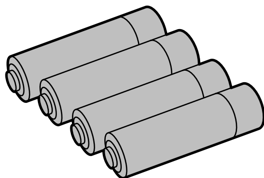


次に大きい方の輪の端を、小さい方の輪の中に通して引っ張ります。

電池を入れます

使用する電池

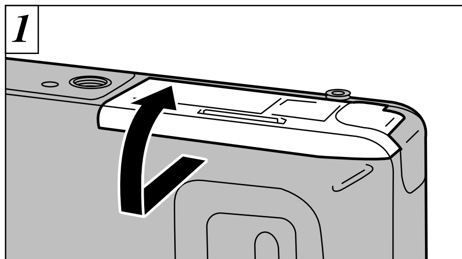
単3形アルカリ乾電池、ニッケル水素電池、またはニカド電池で、同種のものを4本使用します。



◆電池について◆

- 特にアルカリ乾電池はその特性上、寒冷地（＋10℃以下）では使用時間が短くなります。
- リチウム電池やマンガン乾電池は発熱などにより、本機の故障の原因になることがありますので使用しないでください。

! 単3形ニッケル水素電池、ニカド電池の充電には、別売のニッケル水素/ニカド急速充電器（➡64ページ）が必要です。



電池カバーを矢印の方向にスライドさせてから開けます。

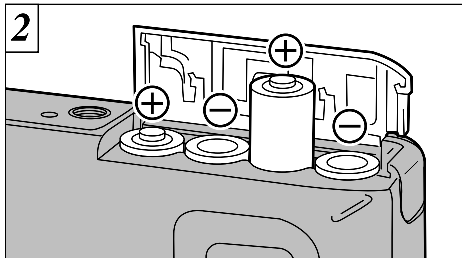
! 電池カバーに無理な力を加えないでください。

! 電池を交換するときは必ず電源を切ってください。電源を切らないと、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。

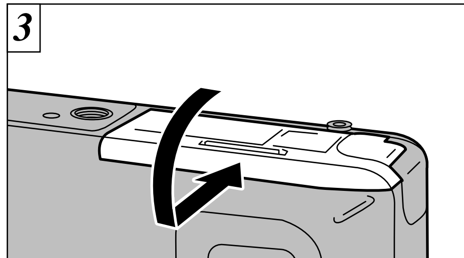
! 電池の交換は約5分以内に行ってください。各種設定の保持時間は、電池を取り出してから約5分です。

! 新しい電池と使用した電池を、まぜて使用しないでください。

電池を入れます



電池を表示に従って正しくセットします。



電池カバーを矢印のように閉めます。

! 電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないように注意してください。

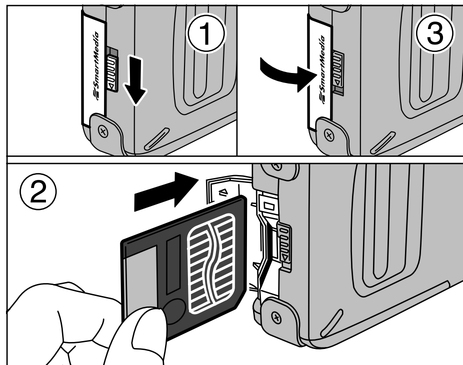
スマートメディア™をセットします

スマートメディア™

スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。

MG-4SB(4MB)、MG-8SB(8MB)、MG-16SB(16MB)、MG-32SB(32MB)、MG-64SB(64MB)

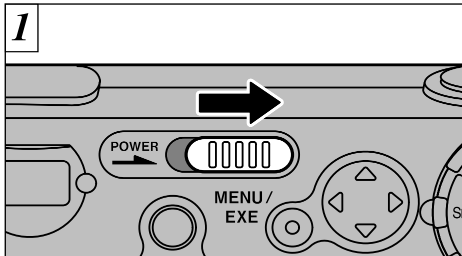
64MBのスマートメディアに640×480ピクセルモードで記録すると、1000コマを越えて記録可能な場合があります。その場合、本カメラでは、コマNo.の大きいほうから1000コマの画像のみの再生、またDPOF設定などができます。
「コマNo.の大きいほうから1000コマの画像」の範囲外に再生したい画像がある場合には、不要画像を消去して、全体で1000コマ以下にして、必要な画像を再生してください。
このような複雑な操作を避けるためにも、記録コマ数は、最大1000とすることをおすすめします。



- ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません(➡61ページ)。
- 本カメラでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
- 3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。
- 電源が入った状態でスロットカバーを開けると、スマートメディア保護のため電源が切れます。
- スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。
- スマートメディアについて、詳しくは70ページをご参照ください。

1

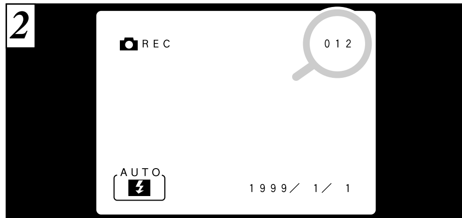
電源のON/OFF



電源を入/切するには、" POWER "スイッチを矢印方向にスライドさせます。電源を入れるとファインダーランプ[緑]が点灯します。

オートパワーオフ機能
電源を入れたまま約2分間放置すると、電源が自動的に切れます。

● " MENU/EXE "ボタンを押しながら電源を入れると、オートパワーオフしません。電源を切ると解除されます。
● 各操作の前には、必ず電源を入れてください。



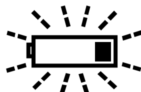
液晶モニターに、スマートメディア標準撮影可能枚数が表示されます(" 、M、 "設定時)。

● 被写体(画像の細かさなど)によって記録されるデータ量が一定ではないため、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
● " CARD ERROR "が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面(金色の部分)を乾いた柔らかい布などで軽くふいてから、再度セットしてください。また、スマートメディアのフォーマットが必要な場合があります(➡56ページ)。

3

液晶モニター

① 表示なし

②  点滅

③  点灯

液晶モニターで電池残量警告を確認できます。

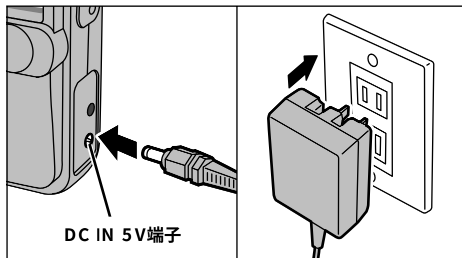
①電池の容量は十分です（表示なし）。

②電池の容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、電池を交換することをおすすめします。

③電池の容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

電池が消耗している場合、液晶モニターをONにできないことがあります。

ACパワーアダプターの使いかた



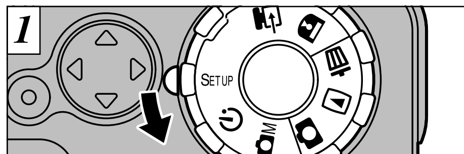
電池の消耗を気にせず撮影・再生やPCモードで使用するには、専用のACパワーアダプターAC-5V（別売）のご使用をおすすめします。

カメラの電源が切れていることを確認してから、AC-5Vの接続プラグをカメラの“ DC IN 5V ”端子に差し込みます。その後、AC-5Vを電源コンセントに差し込みます。

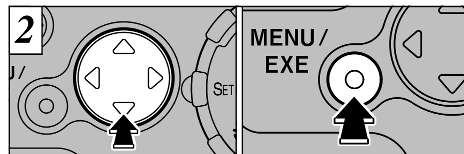
AC-5V以外をお使いになると、本機の故障の原因となることがあります。

ACパワーアダプターについて、詳しくは69ページをご参照ください。

日時の合わせかた

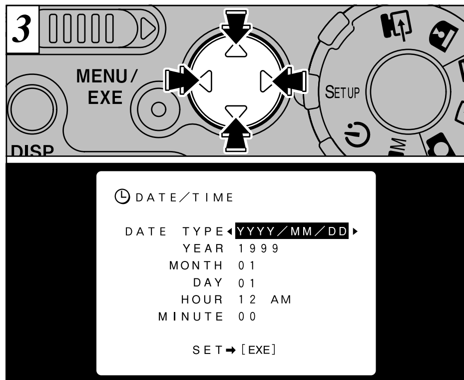


モードダイヤルを“ SETUP ”に合わせ、SET UP画面を表示します。



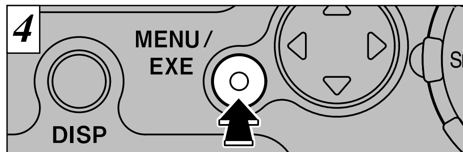
①十字ボタンの“ ▼ ”を押して“ DATE/TIME（日時）”を選択し、②“ MENU/EXE ”ボタンを押します。

❗セットアップモードのメニューについて、詳しくは41ページをご参照ください。



十字ボタンの“ ▲▼ ”を押して合わせたい項目「DATE TYPE(日付の表示順)、YEAR(年)、MONTH(月)、DAY(日)、HOUR(時)、MINUTE(分)」を選び、“ ◀ ▶ ”を押して修正します。

❗時刻表示で“ 12:00:00 ”を越えると、自動的にAM/PMが切り換わります。

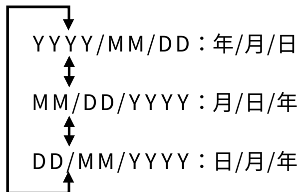


合わせ終わったあと、“ MENU/EXE ”ボタンを押して設定します。

❗時刻を正確に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に“ MENU/EXE ”ボタンを押します。

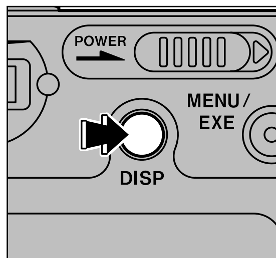
◆DATE TYPEについて◆

十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押すことにより、液晶モニターに表示される日付の表示順を選択することができます。



1

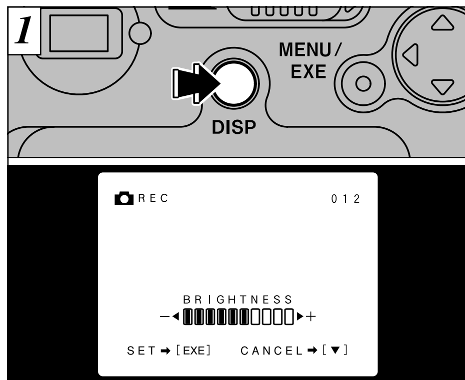
液晶モニターの表示切り換え



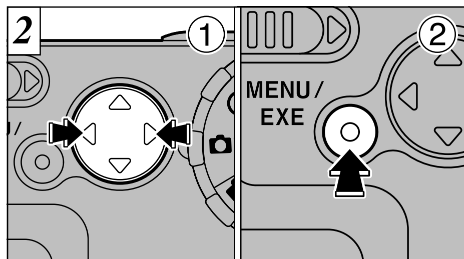
“ DISP ”ボタンを押すごとに、液晶モニターの表示状態を切り換えることができます。モードによって動作が異なります。

モード	液晶モニターの表示状態
セルフタイマー撮影	液晶モニターON → 液晶モニターOFF
M マニュアル撮影	液晶モニターON → 液晶モニターON（文字なし） → 文字表示
オート撮影	液晶モニターON → 液晶モニターON（文字なし） → 液晶モニターOFF
再生	液晶モニターON → 液晶モニターON（文字なし） → マルチ再生（➡P46）
消去	液晶モニターON → マルチ再生（➡P46）
プロテクト	液晶モニターON → マルチ再生（➡P46）
PC	文字表示 → 液晶モニターOFF

液晶モニターの明るさ調節



モードダイヤルが“ 📷、📷M、▶ ”のときに設定を変更できます。
“ DISP ”ボタンを約2秒間押し続けると、明るさ調節画面が表示されます。



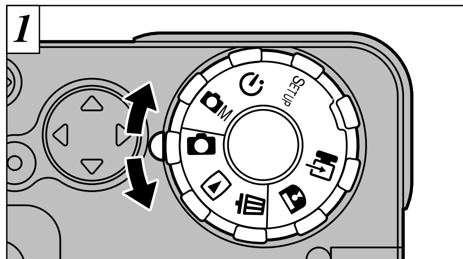
①十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押して明るさを調節します。
②“ MENU/EXE ”ボタンを押して決定します。

1

❗液晶モニターONで文字なしの場合は明るさ調節はできません。

❗設定を変更しない場合は、十字ボタンの“ ▼ ”を押してください。

液晶モニターを使った撮影（オート撮影）



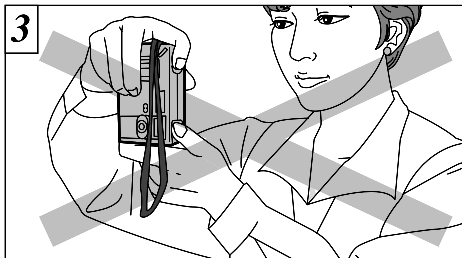
モードダイヤルを“ ”に合わせます。



ストラップに手首を通し、液晶モニターを正面から見るように、脇をしめて両手でカメラを構えます。

- 液晶モニターの日時が点滅表示された場合は、日時を設定してください（➡16ページ）。
- レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は67ページを参照してレンズをきれいにしてください。

- 撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因となります。



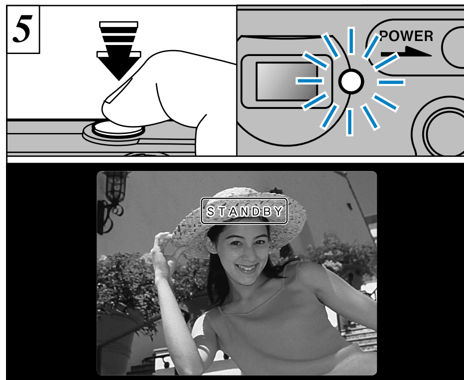
レンズやストロボ調光センサーに、指やストラップがかからないようにしてください。



液晶モニターを見ながら、被写体が中央付近にくるようにねらいます。

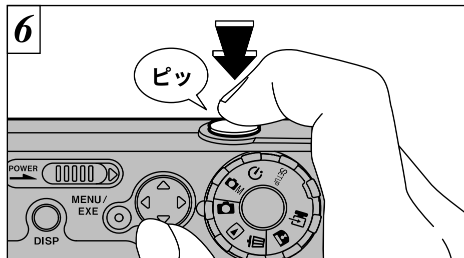
2

● 液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください（➡19ページ）。
● 被写体が中央付近から外れてしまう場合は、AEロック（➡66ページ）撮影を行ってください。



シャッターボタンを半押しして、液晶モニターに“ STANDBY ”と表示(ファインダーランプ[緑]が点滅から点灯)されたら、露出合わせ(AEロック➡66ページ)は完了です。

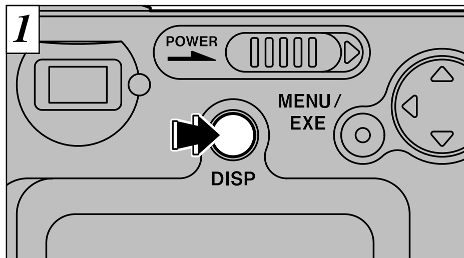
- シャッターボタンを全押しした場合は“ STANDBY ”の表示は出ません。
- 70cm以内に近づくと“ STANDBY ”と表示されてもピントが合いません。



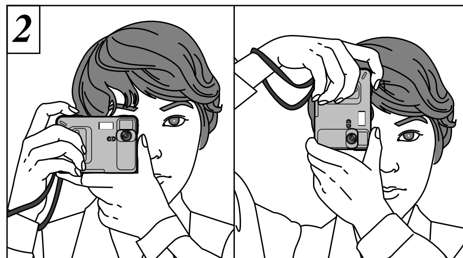
半押しのままさらにシャッターボタンを押すと、“ ピッ ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像データが記録されます。

- データ記録中はファインダーランプが橙色で点灯し、撮影することはできません。また、データ記録中は電源を切ったり、電池カバー、スロットカバーを開けないでください。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色に点滅します。
- 被写体(画像の細かさなど)によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の標準撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。
- 警告表示については、72ページをご参照ください。

ファインダーを使った撮影(省電力撮影)



撮影時(マクロ撮影を除く)に" DISP "ボタンを押して、液晶モニターをOFFにします。液晶モニターONの場合と比べ、電池撮影可能枚数が増えます(➡77ページ)。



ストラップに手首を通し、両脇をしめ、両手でしっかり構えます。縦位置撮影ではストロボが上にくるように構えます。

2

❗約70cm〜無限遠の撮影が可能です。

❗レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は67ページを参照してレンズをきれいにしてください。

❗撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因となります。



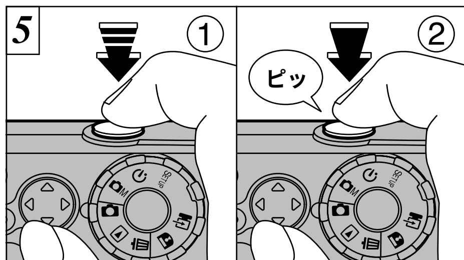
レンズやストロボ調光センサーに、指やストラップがかからないようにしてください。



ファインダーをのぞき、被写体が中央付近にくるようにねらいます。

! 撮影範囲を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

! 被写体が中央付近から外れてしまう場合は、AEロック（➡66ページ）撮影を行ってください。



①シャッターボタンを半押ししてファインダーランプ［緑］が点滅から点灯に変われば、露出合わせ（AEロック➡66ページ）は完了です。
②半押しのままさらにシャッターボタンを押すと、“ピッ”と音が鳴り撮影されます。続いてデータが記録されます。

❗データ記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影することはできません。また、データ記録中は電源を切ったり、電池カバー、スロットカバーを開けないでください。

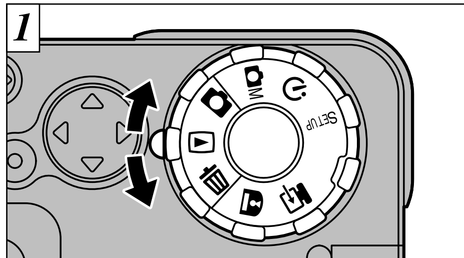
❗ストロボ充電中はファインダーランプが橙色で点滅します。

◆ファインダーランプ表示について

色	状態	内容
緑	点灯	準備完了
	点滅	AE動作中または手ブレ警告
橙	点灯	スマートメディアに記録中
	点滅	ストロボ充電中
赤	点滅	スマートメディアについての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常 ＊液晶モニターONでは、液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡72ページ）。

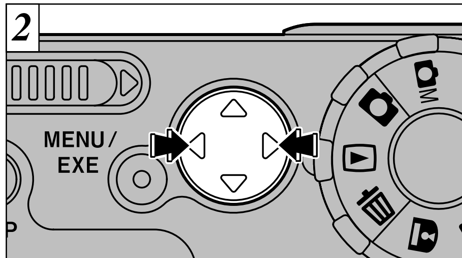
2

▶ 画像を見るには（再生）



モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせます。

- モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせたときは、最後に撮影した画像が表示されます。
- 液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください（➡19ページ）。
- “ DISP ”ボタンを1回押すと、液晶モニターの文字表示が消えます。



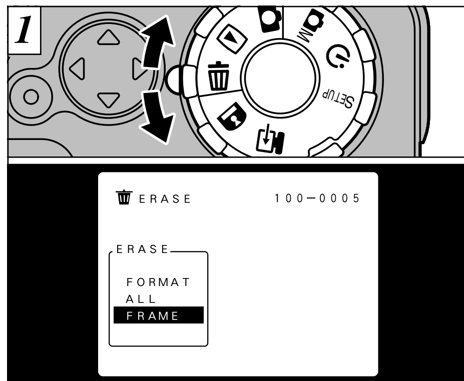
十字ボタンの“ ▶ ”順送り、“ ◀ ”逆送りで画像を見ることができます。

- “ ◀ ▶ ”を約3秒間押し続けると、液晶モニターに早送り“ ━━━━┿━━━━ ”の表示が出ます。
- スマートメディアに1000コマを越える画像が記録されている場合は、13ページをご参照ください。

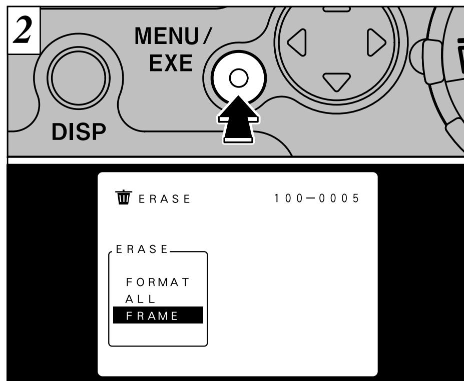
◆再生できるデータについて◆

本機で記録した画像データ、または弊社製デジタルカメラ FinePixシリーズ、CLIP-IT80/50、DS-30/20/10およびDS-260HD/250HD、あるいはそのほかのDCF対応カメラで、3.3V仕様のスマートメディアに記録した画像データが再生できます。

🗑 画像を消すには（1コマ消去）



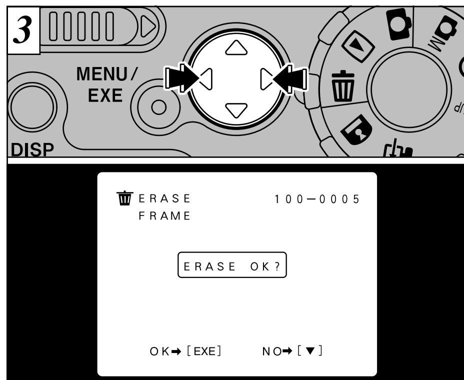
モードダイヤルを“ 🗑 ”に合わせると、液晶モニターにメニューが表示されます。



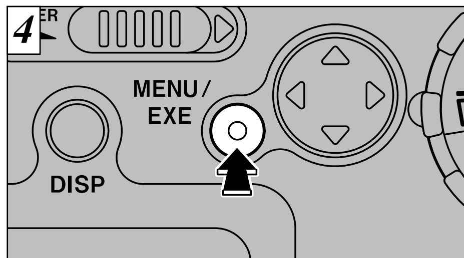
“ FRAME（1コマ）”が選択された状態で、“ MENU/EXE ”ボタンを押します。

❗消去モードの他のメニューについて、詳しくは56、57ページをご参照ください。

🗑 画像を消すには（1コマ消去）



十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押して消去したい画像を表示します。



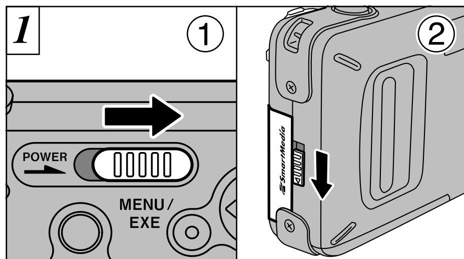
“ MENU/EXE ”ボタンを押すと、表示している画像が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“ ERASE OK? ”が表示されます。

❗途中でキャンセルしたい場合は、十字ボタンの“ ▼ ”を押してください。

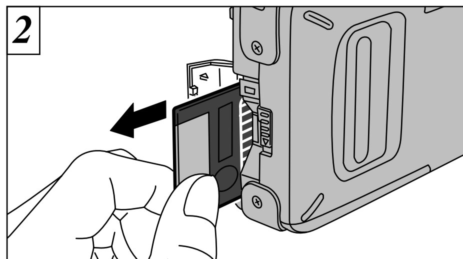
❗消去を続けるには、3 からの操作を繰り返します。

❗“ !PROTECTED FRAME ”が表示された場合、プロテクトを解除する必要があります（➡58ページ）。

スマートメディア™を取り出します



①ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認し、電源を切ります。
②スロットカバーのロックを外します。



スマートメディアをつまんで取り出します。

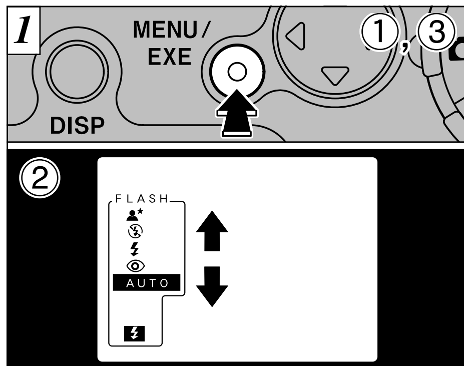
! スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。

! 電源を切らずにスロットカバーを絶対に開けないでください。スマートメディア、または画像データが破壊されることがあります。

◆画像のプリントとパソコンへの取り込みについて◆

- プリントするには、50、63ページをご参照ください。
- パソコンに画像を取り込むには、62、63ページをご参照ください。

ストロボモード



撮影の目的に合わせて、5種類のストロボモードを選べます。
①モードダイヤルが“ 、 M 、 ”で“ MENU/EXE ”ボタンを押すと、メニューが表示されます。
②十字ボタンの“ ▲▼ ”でストロボモードを選びます。
③“ MENU/EXE ”ボタンを押して決定します。



AUTO オートストロボモード

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

! マクロモードでは選べません。



赤目軽減ストロボモード

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボが1回プレ発光し、2回目に撮影のためのストロボが発光します。

マクロモードでは選べません。



強制発光（日中ストロボ）モード

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボモードを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボモードを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近付いて撮影する

などするとより効果的です。

ストロボモード



ストロボ発光禁止モード

ストロボの発光を禁止します。
室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。この場合、オートホワイトバランス（➡66ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮ることができます。

暗い場所で発光禁止モードで撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
手ブレ警告については、25、73ページをご参照ください。

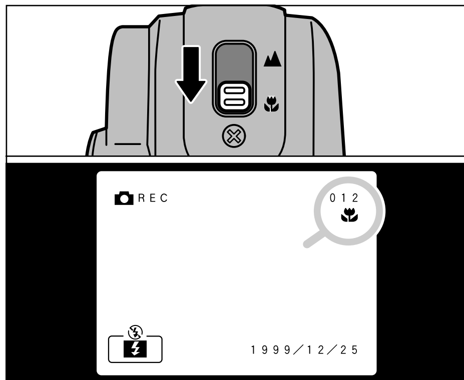


夜景（スローシンクロ）モード

スローシャッターのストロボ発光モードです。夜景と人物をきれいに撮影することができます。

スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

マクロモード（近距離撮影）



マクロモードでは、約10cmの近距離撮影ができます。また、ストロボモードが“ AUTO オート ”または“ 赤目軽減 ”のときは、ストロボは自動的に“ 発光禁止 ”に設定されます。

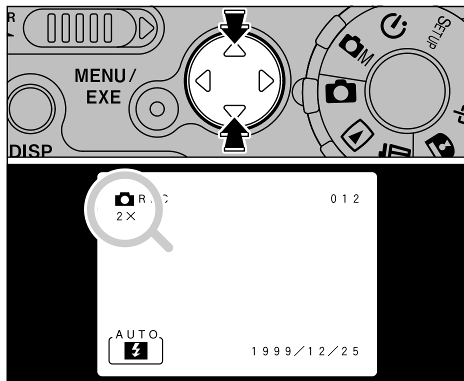
標準/マクロ切り換えスイッチを“ ”側にすると、液晶モニターに“ ”が表示され、マクロモードになります。
標準/マクロ切り換えスイッチを“ ▲ ”側にすると、マクロモードが解除されます。

- 液晶モニターは自動的にONになります。
- マクロモードを解除すると、ストロボはマクロモードにする前に設定していたモードに戻ります。液晶モニターはONの状態のままです。

- 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- ストロボを発光させる場合はメニューを表示して、“ 強制発光 ”または“ 夜景 ”に設定してください。また、“ **AUTO** オート ” 赤目軽減 ”は使用できません。
- マクロモードでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

3

デジタル拡大撮影

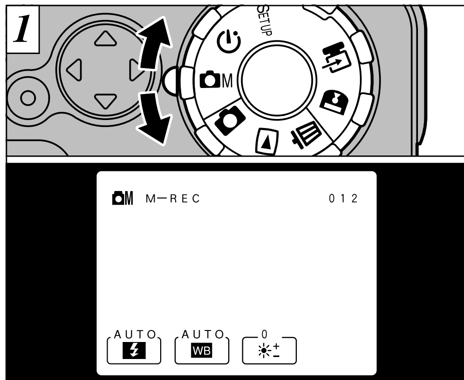


撮影時（すべての撮影モード）に十字ボタンの“ ▲ ”を押すと、画面中央部分を約2倍（2×）に拡大して撮影することができます。拡大倍率は液晶モニターに表示されます。“ ▼ ”を押すと、通常の撮影に戻ります。

- **FILE SIZE（ピクセル）設定が［1280×960］でデジタル拡大撮影した場合は、640×480ピクセルで記録されます（➡41ページ）。**
- **FILE SIZE（ピクセル）設定が［640×480］の場合は、拡大撮影しても記録画素数（画像サイズ）は変化しません。**

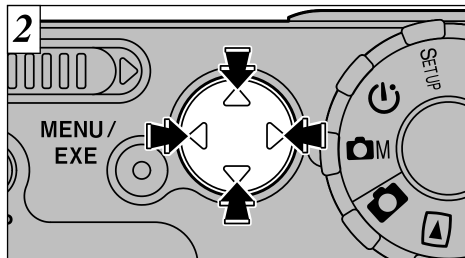
❗液晶モニターOFFでは機能しません。
❗液晶モニターを使って撮影してください。

◘M マニュアル撮影



モードダイヤルを" ◘M "に合わせます。設定メニューが表示されます。

❗ファインダーを使った撮影（➡23ページ）では、設定メニューのみ表示されます。
❗液晶モニターに映像を表示したい場合は、" DISP "ボタンを押してください。



十字ボタンの" ◀ ▶ "でメニューを移動し、" ▲ ▼ "で項目を選びます。

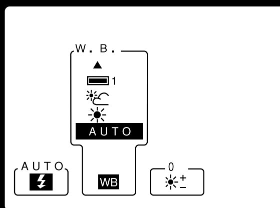
ストロボモードについては30〜32ページをご参照ください。

◆工場出荷設定

メニュー	設定値
ストロボモード	AUTO
WB ホワイトバランス	AUTO
アカルサ	0

＊上記設定はオート撮影と同等の設定になります。

3



WB ホワイトバランス

撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。
ホワイトバランスについては66ページをご参照ください。

AUTO ：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）

 **：晴れた屋外での撮影**

 **：日陰での撮影**

 **：昼光色蛍光灯下での撮影**

 **：昼白色蛍光灯下での撮影**

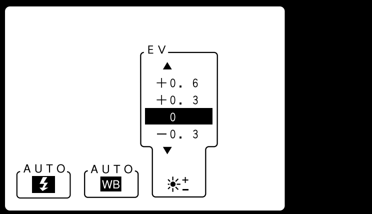
 **：白色蛍光灯下での撮影**

 **：電球、白熱灯下での撮影**

! すぐ撮影したい場合は、“ MENU/EXE ”ボタンを押して決定してください。

! ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定は無効になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止にしてください。

4



☀± アカルサ（露出補正）

被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

- **補正範囲は9段（−0.9〜＋1.5EV，約0.3EVステップ）です。EVについては66ページをご参照ください。**

! 次のような状態では、アカルサ設定が無効になります。

- オートまたは赤目軽減モードでストロボが発光したとき
- 強制発光モードで撮影シーンが暗いとき

◆次のような被写体のとき効果があります◆

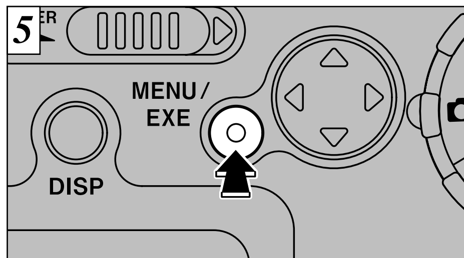
＋（プラス）補正

- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写（＋1.5EV）
- 逆光の人物撮影（＋0.6〜＋1.5EV）
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合（＋0.9EV）
- 画面内を空の部分が大きく占める場合（＋0.9EV）

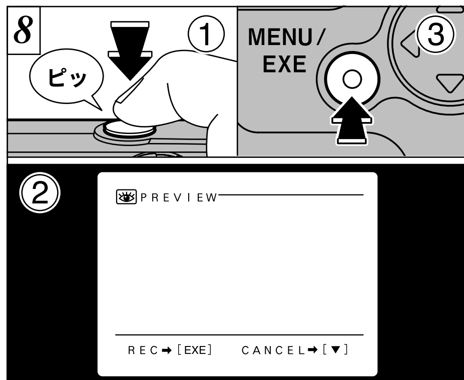
−（マイナス）補正

- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合（−0.6EV）
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写（−0.6EV）
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合（−0.6EV）

＊（　）内は補正のめやすです。



メニューを設定し終わったら、“ MENU/EXE ”ボタンを押して決定します。設定した内容は電源を切っても保持されます。

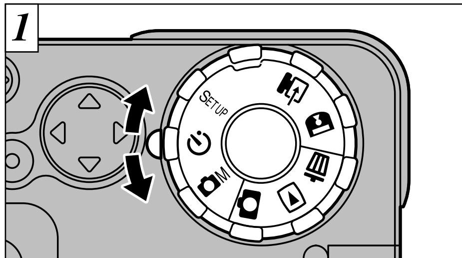


①シャッターボタンを押して撮影します。
②液晶モニターに撮影画像が表示されます。
③画像を記録したい場合は、“ MENU/EXE ”ボタンを押してください。

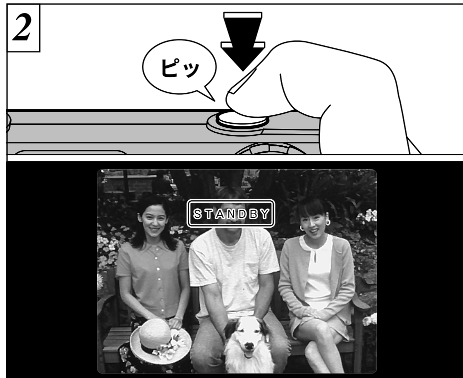
電池を約5分以上取り出したままにしたり、設定中に電池を取り出したりすると、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。

意図した撮影画像でない場合、十字ボタンの“ ▼ ”を押すとスマートメディアに記録されません。もう一度撮影し直してください。

セルフタイマー撮影



モードダイヤルを“ ”に合わせます。

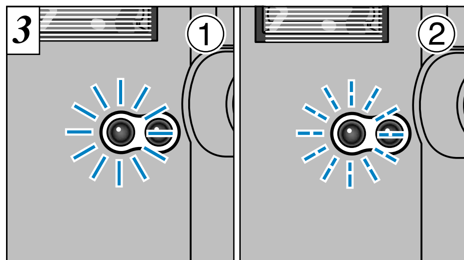


被写体がファインダーまたは液晶モニターの中央付近にくるようにし、シャッターボタンを押すと中央付近のものに露出が合い、セルフタイマーがスタートします。

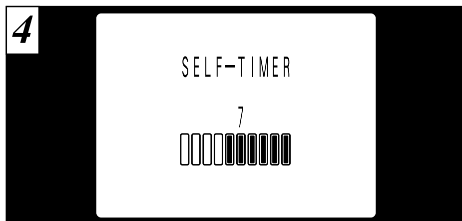
レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は67ページを参照してレンズをきれいにしてください。

カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

セルフタイマー撮影



セルフタイマーランプが①約5秒間点灯したのち②点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。



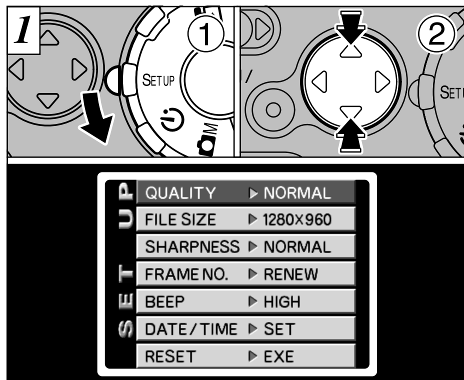
撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン表示されます。

スタートしたセルフタイマー撮影は、十字ボタンの“▼”を押すと解除できます。

SETUP セットアップ ▶設定項目は次のとおりです。

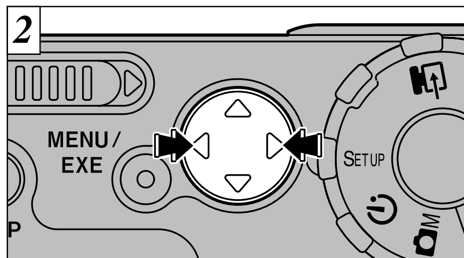
項目名	表　示	工場出荷時	内　　容
QUALITY（クオリティー）	FINE/NORMAL/BASIC	NORMAL	撮影の目的に合わせて、3種類の画質（記録画像の圧縮率）を選べます。画質によって標準撮影可能枚数が変わります。（➡76ページ）
FILE SIZE（ピクセル）	1280×960/640×480	1280×960	撮影の目的に合わせて、2種類の画素数（画像サイズ）を選べます。画素数によって標準撮影可能枚数が変わります。
SHARPNESS（シャープネス）	HARD/NORMAL/SOFT	NORMAL	3段階切り換えです。 HARD　：文字などを特に鮮明にしたい撮影に最適（輪郭を強調します） NORMAL：通常の撮影に最適 SOFT　：パソコンでの処理に最適（輪郭をソフトにします）
FRAME NO.（コマNo.メモリー）	CONT/RENEW	RENEW	使用するかしないかを切り換えます。（➡43ページ）
BEEP（ブザー音）	HIGH/LOW/OFF	HIGH	操作したときの音量を切り換えます。" OFF "にすると音が鳴りません。
DATE/TIME（日時）	SET	—	日付・時刻を設定できます。（➡16ページ）
RESET（リセット）	EXE	—	" MENU/EXE "ボタンを押すと、SET UP画面内の項目（日時は除く）を工場出荷設定に戻せます。

操作のしかたは次ページをご参照ください。



①モードダイヤルを“ SETUP ”に合わせてSET UP画面を表示します。

②十字ボタンの“ ▲▼ ”を押して項目を選択します。



十字ボタンの“ ◀ ▶ ”で設定を変更して決定できます(日時・リセットを除く)。

❗電池を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずに電池カバーを開けたりACパワーアダプターを抜くと、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。

FRAME NO.（コマNo.メモリー）

	<RENEW>	<CONT>
A	0001 ⋮ 0005	0001 ⋮ 0005
↓		
B	0001 ⋮ 0005	0006 ⋮ 0010

A、Bともにフォーマットされたスマートメディアを使用した場合

RENEW：スマートメディアごとに「ファイルNo. 0001」から撮影
CONT　：最後に使用したスマートメディアの「最終ファイルNo.」から続けて撮影

“ CONT ”にすると、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

❗記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像がスマートメディアにあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。



画像を再生するとファイルNo.を確認できます。画面の右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、残りの3けたはフォルダーNo.です。

❗スマートメディアを交換するときは、必ず電源を切ってからスロットカバーを開けてください。電源を切らずにスロットカバーを開けると、FRAME NO.（コマNo.メモリー）が機能しません。

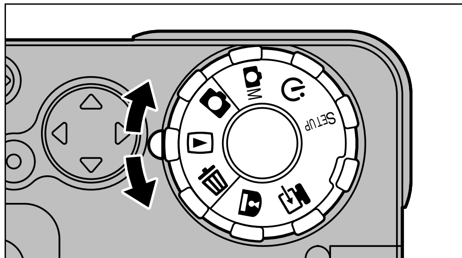
❗ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダーNo.が1つ繰り上がります。最大で999−9999までカウントされます。

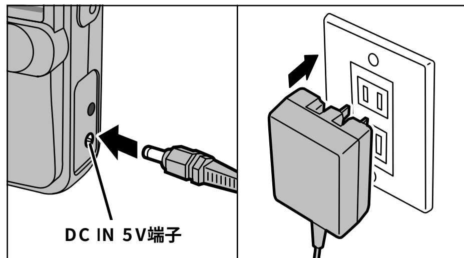
❗FRAME NO.（コマNo.メモリー）を“ RENEW ”にして撮影すると、記憶した「最終ファイルNo.」がリセットされます。

❗他のカメラで撮影した画像は、コマNo.表示が異なる場合があります。

3

応用編 再生では



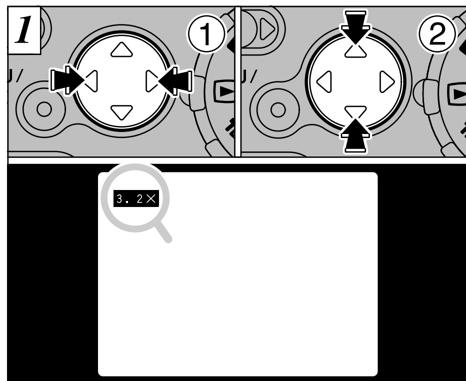


ここでは、モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能を紹介します。このあとの操作説明は、モードダイヤルが“ ▶ ”に合っていることを前提に説明します。

また、コンセントが近くにある場合は、画像を再生している最中に電源が切れないように、ACパワーアダプター　AC-5V（別売）の使用をおすすめします（➡15ページ）。

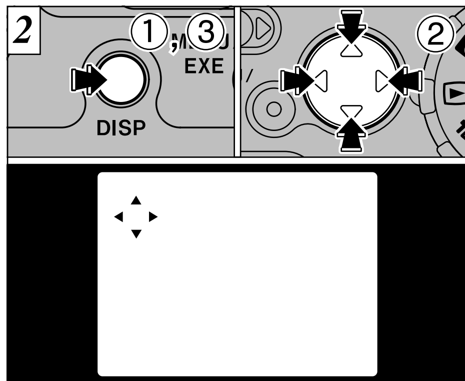
❗スマートメディアに1000コマを越える画像が記録されている場合は、13ページをご参照ください。

再生ズーム



①十字ボタンの“ ◀ ▶ ”でズームしたい画像を表示します。
②十字ボタンの“ ▲▼ ”を押してズーム倍率を設定します。

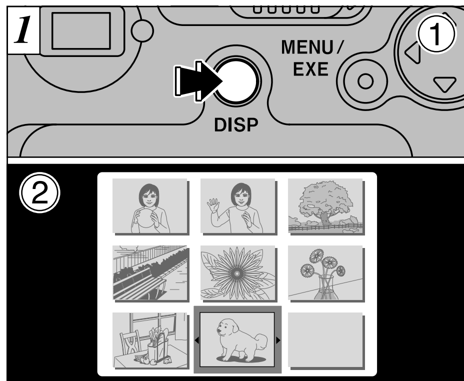
❗ズーム倍率は0.2ステップで4.0×までです。
❗ズーム中に“ ◀ ▶ ”を押すと、ズームが解除され次の画像に送られます。



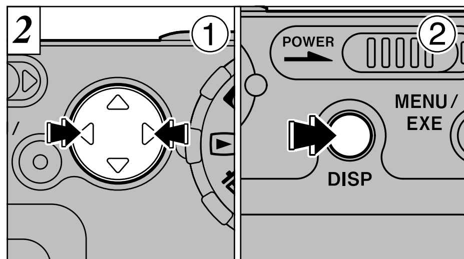
ズームしたあとに、
①“ DISP ”ボタンを押します。
②十字ボタンの“ ▲▼ ◀ ▶ ”を押して、見える範囲を移動することができます(ズーム送り)。
③ズーム送り中に“ DISP ”ボタンを押すと、再度ズーム倍率を変更することができます。

❗“ MENU/EXE ”ボタンを押すと、画像が等倍に戻ります。

マルチ再生



①再生中に“ DISP ”ボタンを2回押します。
②マルチ再生（9コマ）になります。

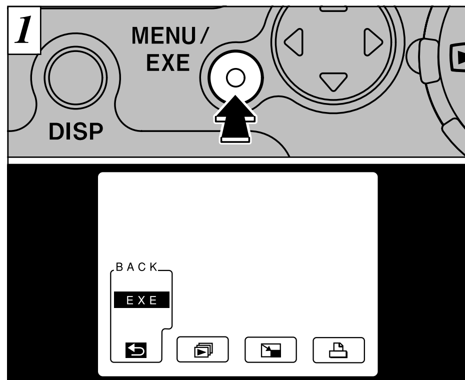


①十字ボタンの“ ◀ ▶ ”でカーソル（橙色の枠）を動かしてコマを選びます。
②選んだ画像を大きく見たい場合は、再度“ DISP ”ボタンを押してください。

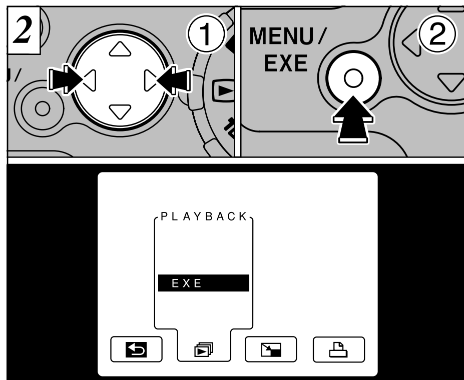
❗液晶モニターの文字表示は、約3秒後に消えます。連続表示はできません。
❗再生ズーム中はマルチ再生はできません。

❗マルチ再生では“ ▲▼ ”ボタンは無効です。
❗マルチ再生は、1コマ消去、1コマプロテクト、DPOF 1コマ設定、DPOF確認/解除で画像を選択する場合に便利です。

再生メニュー 🗗 プレイバック（自動再生）



"MENU/EXE"ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。



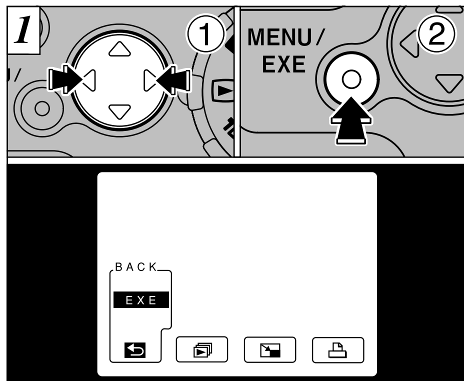
①"🗗 PLAYBACK（自動再生）"を選びます。
②"MENU/EXE"ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。

❗PLAYBACK（自動再生）中はオートパワーオフしません。

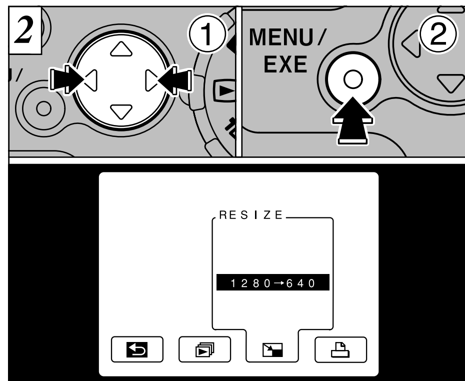
❗"DISP"ボタンを1回押すと、液晶モニターに文字表示が現れます。日付表示はしません。
❗途中でやめたい場合は、画像が表示されているときに、十字ボタンの"▼"または"MENU/EXE"ボタンを押してください。

4

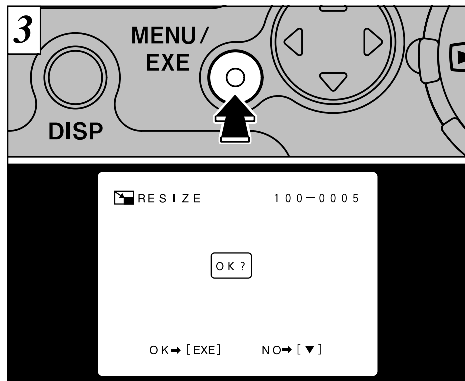
再生メニュー  リサイズ（縮小）



①リサイズしたい画像を液晶モニターに表示します。
②"MENU/EXE"ボタンを押してメニューを表示します。



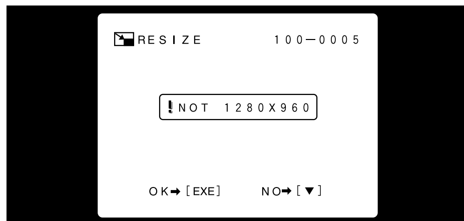
①"RESIZE（リサイズ）"を選びます。
②"MENU/EXE"ボタンを押します。



実行を確認する画面が表示されます。OKなら“ MENU/EXE ”ボタンを押して実行します。画像は別ファイルで記録されます。

“ CARD FULL ”と表示された場合は、記録できません。画像を消去するなどして、スマートメディアの空き容量を確保してください。

リサイズをしない場合は、十字ボタンの“ ▼ ”を押してください。



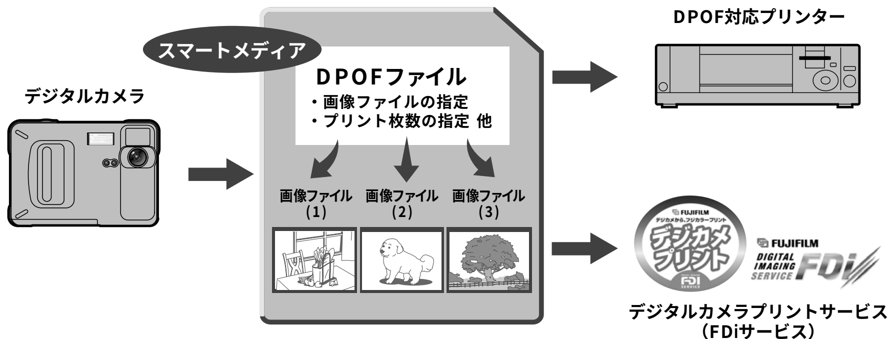
“ NOT 1280X960 ”と表示された場合は、撮影した画像サイズが［1280×960］ではありません。リサイズできるのは、FILE SIZE（ピクセル）設定が［1280×960］で撮影されている画像のみです。

4

再生ﾒﾆｭｰ DPOFについて

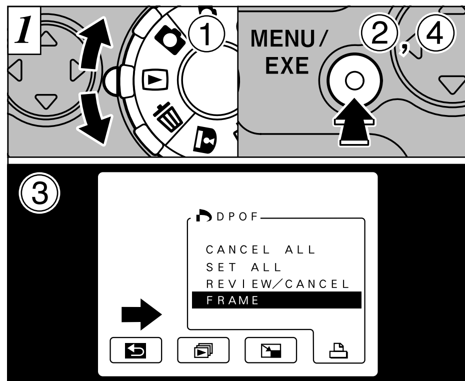


DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をスマートメディアなどに記録するときの形式です。

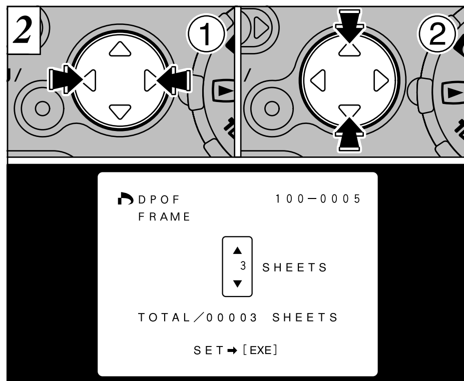


- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では、上記の情報をカメラの操作でスマートメディアに記録することができます。
- DPOF情報を記録したスマートメディアを、フジフイルム デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

再生メニュー 凸 DPOF 1コマ設定



①モードダイヤルを" ▶ "に合わせ
②" MENU/EXE "ボタンを押して、液晶モニターにメニューを表示させます。
③" 凸 DPOF "を選びます。
④" FRAME（1コマ）"を選んで、" MENU/EXE "ボタンを押します。



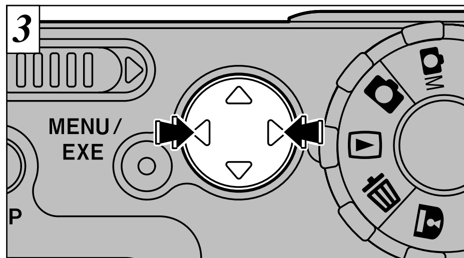
①" ◀ ▶ "で設定するコマを表示させます。
②" ▲▼ "でプリント枚数を指定します。

4

! 指定できるプリント枚数は1コマにつき99枚までです。また、同一カード内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

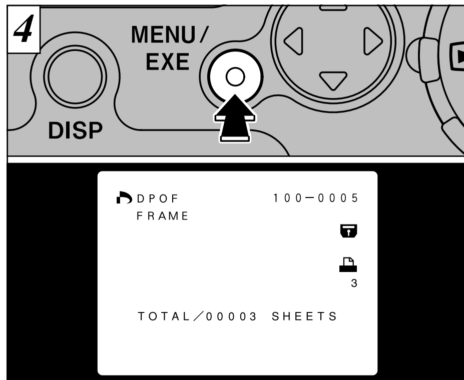
! 画像を選ぶときはマルチ再生（➡46ページ）すると便利です。

再生メニュー  DPOF 1コマ設定



“ ◀ ▶ ”で次のコマを表示し、続けてプリント枚数を指定できます。

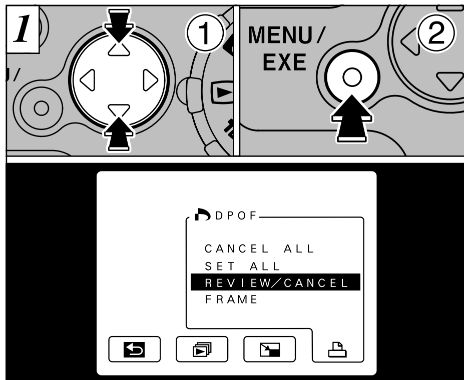
● “ MENU/EXE ”ボタンを押さなかった場合、約10秒間で選択するコマの設定は無効になります。
● 指定したプリント枚数は自動的に確定され、さらにこれらの情報が消去されないように、そのコマがプロテクトされます。



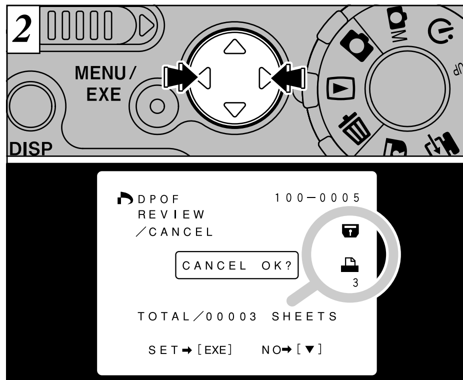
設定が終わったら、“ MENU/EXE ”ボタンを押して決定してください。液晶モニターにトータル枚数が表示され、メニューに戻ります。確定したコマには“ ”“ ”とプリント枚数が表示されます。

● “ TOTAL（トータル）”は指定したプリント枚数の合計です。

再生メニュー 🖶 DPOF 確認/解除



①“ REVIEW/CANCEL（確認/解除）”を選びます。
②“ MENU/EXE ”ボタンを押します。

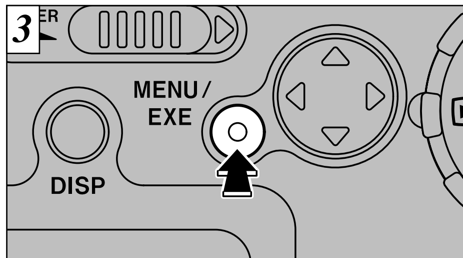


“ ◀ ▶ ”を押すと、プリント枚数設定をしたコマだけを確認できます。各コマの設定は画面の右端に表示されます。

❗画像を選ぶときはマルチ再生（➡46ページ）すると便利です。

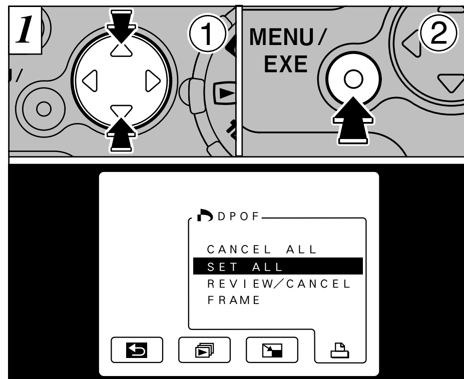
❗すべてのプリント設定が解除された場合は“ TOTAL（トータル）”は00000枚になり、背景が黒画面になります。ただし、コマはプロテクトされたままです。

4

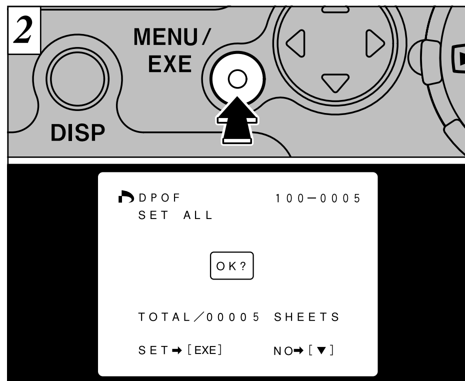


プリント設定を解除するには、解除したい画像を表示し“ MENU/EXE ”ボタンを押します。

 🖶 DPOF 全コマ指定/全コマ解除

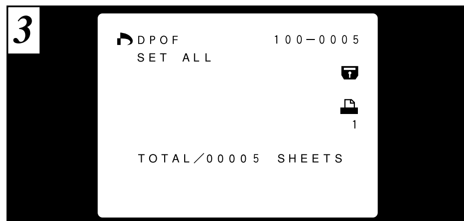


①“ SET ALL（全コマ指定）”か“ CANCEL ALL（全コマ解除）”を選びます。
②“ MENU/EXE ”ボタンを押します。



実行を確認する画面が表示されます。OKなら“ MENU/EXE ”ボタンを押して実行します。

- “ SET ALL（全コマ指定）”は、すべての画像を1枚ずつプリントする指定をします。
- 1コマ設定で枚数を指定していても、すべて1枚ずつのプリント指定に変更されます。
- 同一カード内でプリント指定できるコマ数は、999コマまでです。999コマ以上の指定をすると、“ !DPOF FILE ERROR ”の警告が出ます。

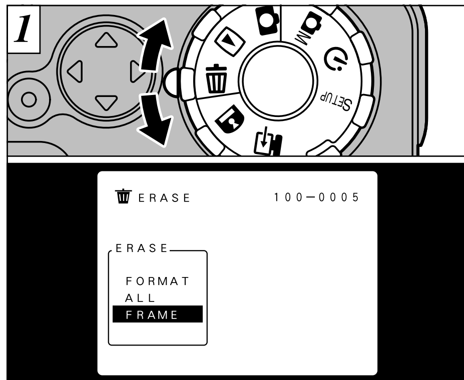


液晶モニターにトータル枚数が表示され、その後メニューに戻ります。

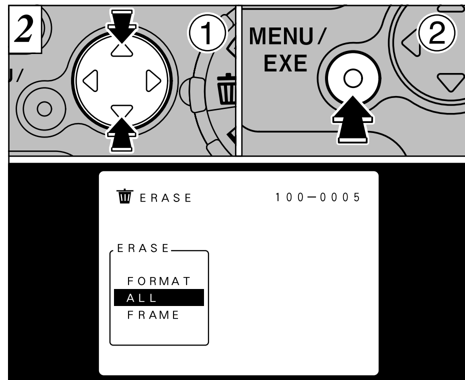
- “ TOTAL（トータル）”は指定したプリント枚数の合計です。
- 全コマ解除した場合“ TOTAL（トータル）”は00000枚になります。ただし、コマはプロテクトされたままです。

4

全コマ消去/フォーマット



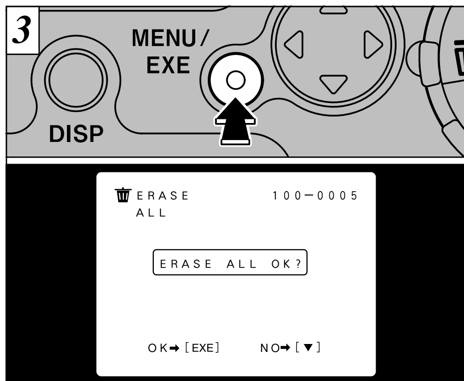
モードダイヤルを“ 🗑 ”に合わせると、液晶モニターにメニューが表示されます。



①“ ALL（全コマ）”か“ FORMAT（フォーマット）”を選びます。
②“ MENU/EXE ”ボタンを押します。

1コマ消去は27ページをご参照ください。

フォーマットするとすべての画像が消去されます。



実行を確認する画面が表示されます。OKなら"MENU/EXE"ボタンを押して実行します。

●**全コマ消去**

すべての画像を消去します。

＊プロテクトした画像(➡58、60ページ)は残ります。

●**フォーマット**

すべてのデータを消去して、スマートメディアをこのカメラ用に作り直します(初期化)。

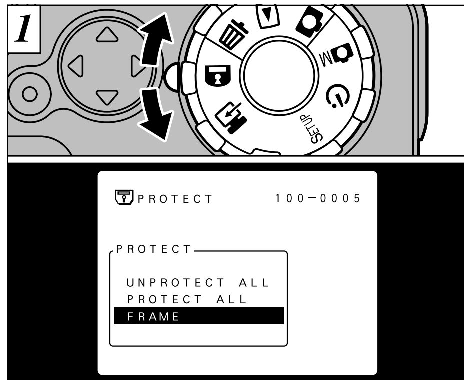
"!CARD NOT INITIALIZED"や"!CARD ERROR"と表示された場合に使用します。

＊プロテクトした画像も消えます。

"!CARD ERROR"が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面(金色の部分)を乾いた柔らかい布などで軽くふいてから、再度セットしてください。それでも表示される場合は、フォーマットをします。

キャンセルしたい場合は、十字ボタンの"▼"を押してください。

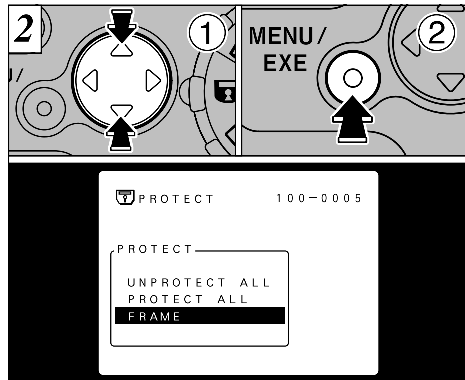
1コマプロテクト設定/解除



モードダイヤルを“ ”に合わせると、液晶モニターにメニューが表示されます。

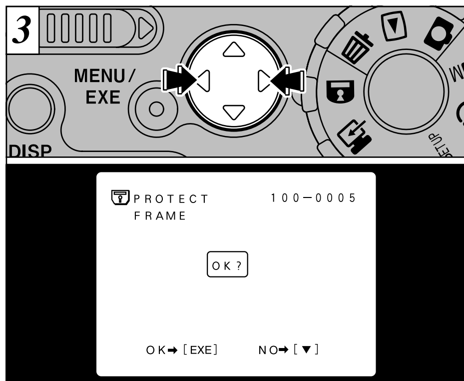
> **プロテクト**
> 画像を誤って消去しないように設定することです。

DPOF設定されたファイルはプロテクトを解除できません。DPOF設定を解除してください（➡54ページ）。



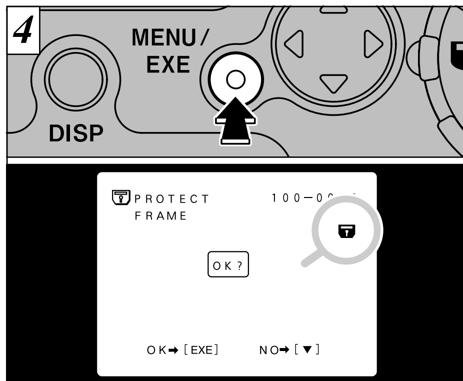
①“ FRAME（1コマ）”を選びます。
②“ MENU/EXE ”ボタンを押します。

スマートメディアに1000コマを越える画像が記録されている場合は、13ページをご参照ください。



“ ◀ ▶ ”ボタンでプロテクトしたい画像を選びます。

❗画像を選ぶときは、マルチ再生(➡46ページ)すると便利です。
❗プロテクトをしない場合は、十字ボタンの“ ▼ ”を押してください。

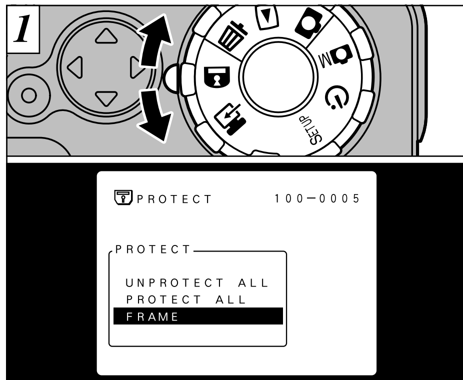


“ MENU/EXE ”ボタンを押すと画像がプロテクトされ、右端に“ 🔒 ”マークが表示されます。プロテクトを解除するには、もう一度“ MENU/EXE ”ボタンを押します。

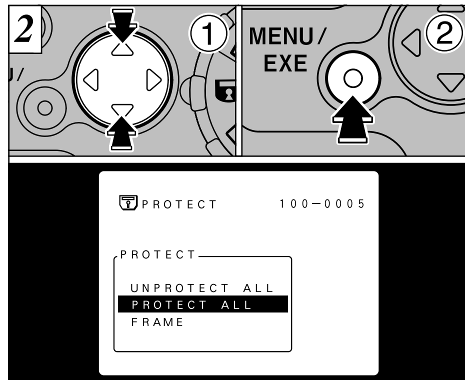
❗プロテクトを続けるには、3からの操作を繰り返します。
❗プロテクト操作をやめるには、十字ボタンの“ ▼ ”を押してください。
❗プロテクトされていても、フォーマットするとすべての画像が消去されます(➡56ページ)。

5

全コマプロテクト設定/解除

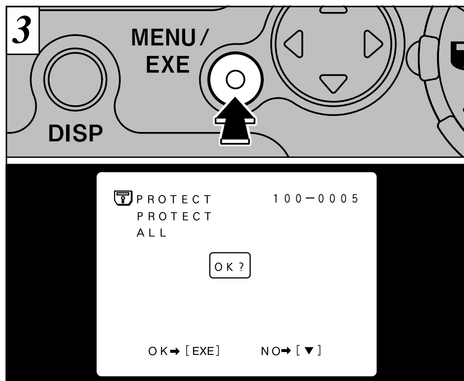


モードダイヤルを“ ”に合わせると、液晶モニターにメニューが表示されます。



①“ PROTECT ALL（全コマ）”か“ UNPROTECT ALL（全コマ解除）”を選びます。
②“ MENU/EXE ”ボタンを押します。

DPOF設定されたファイルはプロテクトを解除できません。DPOF設定を解除してください（➡54ページ）。

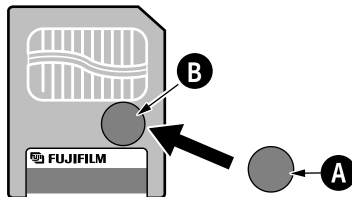


実行を確認する画面が表示されます。OKなら“MENU/EXE”ボタンを押して実行します。

プロテクトされていても、フォーマット（➡56ページ）するとすべての画像が消去されます。

スマートメディア™の誤記録防止について

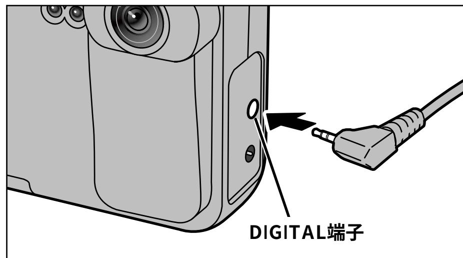
ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。



＊必ず付属のライトプロテクトシールⒶを、ライトプロテクトエリア内Ⓑに、はみ出さないようにしっかりとはってください。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると、誤記録防止されないことがあります。
＊スマートメディアについて、詳しくは70ページをご参照ください。

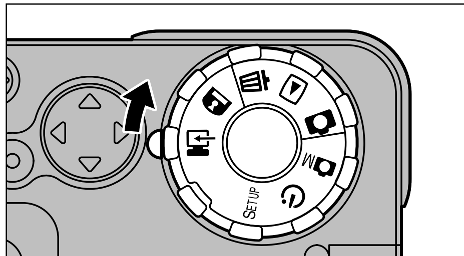
5

 PCモード（パソコンに画像を取り込むには）



必ずカメラとパソコンの電源を切ってください。カメラの“ DIGITAL ”端子に専用ケーブルのミニミニプラグ側を接続し、もう片方のプラグをパソコンに接続します。
ACパワーアダプター AC-5V（別売）の使用をおすすめします（➡15ページ）。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの送受信ができません。

	パソコンの接続ポート
Windows	COM1ポート～COM4ポートのいずれか
Macintosh	モデムポートまたはプリンターポート

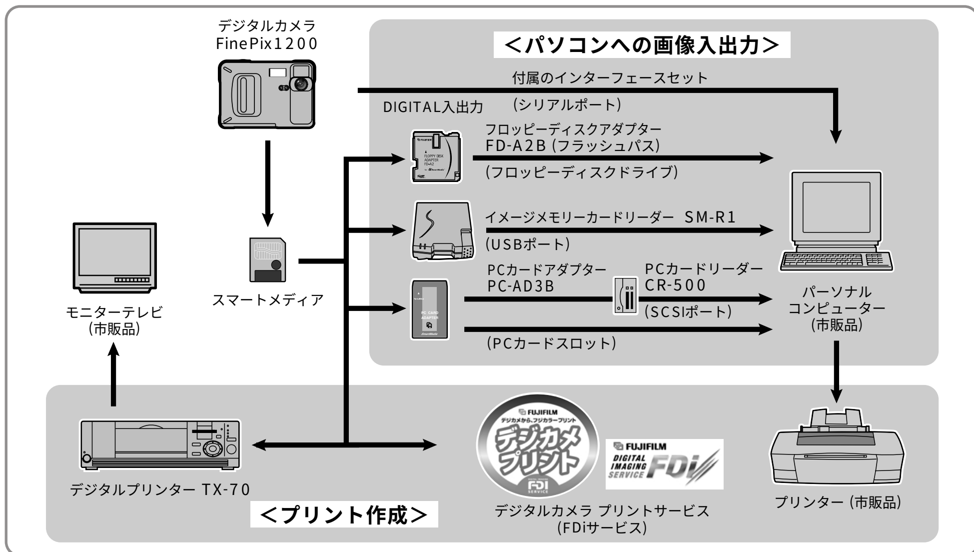


モードダイヤルを“ 🖳 ”に合わせ、カメラの電源を入れてからパソコンを起動します。ソフトウェアを使用して画像の送受信をします。

- 確実に専用ケーブルが接続されているのを確認してから電源を入れてください。
- “ 🖳 ”PCモードではオートパワーオフ（➡66ページ）は機能しません。
- 接続前にパソコンにソフトウェアをインストールしてください。また、専用ケーブル以外は使用しないでください。
- ソフトウェアのインストールのしかたは、簡単操作ガイドをご覧ください。

システムアップ機器（別売）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。



平成11年11月現在

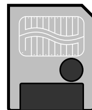
その他 別売アクセサリーの紹介（平成11年11月現在）

▶使いかたや、接続のしかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

●スマートメディア™

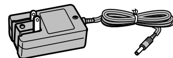
別売のスマートメディアです。以下の5種類がお使いいただけます。

●MG-4SB　：4MB、3.3V仕様　●MG-8SB　：8MB、3.3V仕様
●MG-16SB　：16MB、3.3V仕様　●MG-32SB　：32MB、3.3V仕様
●MG-64SB　：64MB、3.3V仕様
＊3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。



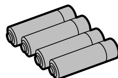
●ACパワーアダプター AC-5V

長時間の撮影・再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
（AC-100-240V、50/60Hz 対応）



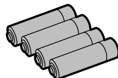
●単3形ニッケル水素電池 HR-AA「ニッケル水素1600」

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
4本パック「型名 HR-AA/4B」をお買い求めください。



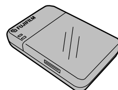
●単3形ニカド電池 KR-AA（HP）「ハイパワー1000」

高容量の単3形ニカド電池です。
4本パック「型名 KR-AA（HP）/4B」をお買い求めください。



●ニッケル水素/ニカド急速充電器80（FNH）

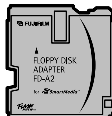
ニッケル水素1600 4本を約170分間で充電できます。
ニカド電池4本を約120分間で充電できます。（日本国内使用専用）



●フロッピーディスクアダプター FD-A2B（FlashPath：フラッシュパス）

通常の3.5インチのフロッピーディスクと同じ形をしたアダプターです。
スマートメディアをフロッピーディスクアダプターに挿入し、フロッピーディスクドライブからスマートメディアの画像をパソコンに取り込むことができます。

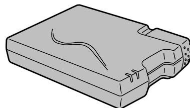
- フロッピーディスクアダプター FD-A2対応OS
  Windows95/98（DOS/V機）
  Windows95 4.00.950B OSR2以降/98（NEC PC-9821シリーズ）
  漢字Talk7.5.3〜Mac OS8.1/Power Macintosh（読み込みのみ）



●イメージメモリーカードリーダー SM-R1

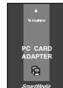
イメージメモリーカード（スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みが可能です。USBインターフェースにより高速なデータ転送を行います。

- Windows98/iMac、およびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh



●PCカードアダプター PC-AD3B

スマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1/JEIDA4.2）に準拠したPCカード（TYPE II）として使えます。



●ソフトケース SC-CI5

ウレタン製の専用のケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

用語の解説

AEロック　：このカメラでは、シャッターボタンを半押しすると露出を固定（AEロック）します。露出を決めてから構図を変えたい場合には、AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

EV　：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exifファイル形式　：Exif（イグジフ）は、日本電子工業振興協会（JEIDA）で承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFF（ティフ）やJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。

JPEG　：JPEG（ジェイペグ）は、カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

オートパワーオフ機能：電池の消耗や、ACパワーアダプター接続時のムダな電力消費を防ぐため、このカメラでは約2分間何の操作もしないと自動的に電源をOFFします。
● PLAYBACK（自動再生）時やPCモード時、またはオートパワーオフを無効にした場合は、オートパワーオフしません。

ホワイトバランス　：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

正しくお使いいただくためのご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- ●湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ●直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- ●振動の激しいところ
- ●油煙や湯気の当たるところ
- ●強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ●防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■砂がかからないようにしてください。

砂は本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因となるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内部やレンズなどに水滴がつく（結露）ことがあります。このようなときは電源を切り、1時間ほどたってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池・スマートメディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固い物でこすったりしないでください。
- ●カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■海外で使うとき

- ●このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内のサービス窓口にご相談ください。
- ●海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因となることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素電池や単3形ニカド電池を使用してください。
  単3形マンガン乾電池や単3形リチウム電池は、電池の発熱などにより本機の故障や事故の原因となることがありますので使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により容量の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命（使用時間）がかなり短い場合があります。

電池についてのご注意

電池の使い方を誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕ と ⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、4本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、ニッケル水素電池/ニカド電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。

⚠ **万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。**

⚠ **電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明のおそれがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。**

■電池の破棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電池（ニッケル水素電池/ニカド電池）についてのご注意

- 単3形ニッケル水素電池/ニカド電池の充電は、専用のバッテリーチャージャー（別売）を使用し、バッテリーチャージャーの「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- バッテリーチャージャー（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ニッケル水素電池/ニカド電池は、出荷時には充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池/ニカド電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池/ニカド電池は使わなくても自己放電しています。ご使用の前に必ず充電してください。また、正常に充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。新しいものをお買い求めください。

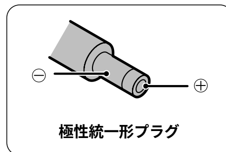
■小形充電式電池のリサイクルについて



このマークは小形充電式電池（ニッケル水素電池/ニカド電池など）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

ACパワーアダプターについてのご注意



極性統一形プラグ

本機には、必ず専用のACパワーアダプター AC-5V（別売、EIAJ規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。AC-5V以外のACパワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因となることがあります。

- ACパワーアダプターの接点部には、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- “DIGITAL”端子には差し込まないでください。故障の原因となることがあります。
- 電池動作中にACパワーアダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACパワーアダプター動作中に電池を入れたり、交換したりしないでください。一度電源を切ってから行ってください。
- バッテリーがない状態でACパワーアダプターを抜くと、日時の保持はしません。日時を設定し直してください。

スマートメディアTMについてのご注意

■スマートメディアについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像データが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像データを消去したり、再び記録することができます。

■データ保持について

以下の場合、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。記録したデータの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき
＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中にスマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

大切なデータは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- スマートメディアをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因となります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このよう

な場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。

- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
- インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。カードの出し入れの際、故障の原因になります。
- インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアにかからないように、はってください。
- 万一、当社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいカードとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
- スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダーが作成されます。画像データは、このフォルダー内に記録されます。
- パソコンでスマートメディアのフォルダー名やファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
- スマートメディア上の画像データの消去はカメラで行ってください。
- 画像データを編集する場合は、画像データをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像データを編集してください。
- パソコンからスマートメディアに画像データを記録または消去する場合、あるいはスマートメディアに本カメラで記録された画像を読み出す場合は、弊社製のソフトウェア Data Transfer Software PICTURE SHUTTLE（付属）をご使用ください。

■主な仕様

形　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	37×45×0.76mm（幅/高さ/厚み）

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
（電池残量表示・点滅）	カメラの電池の容量が少ない。	電池を交換するか、充電してください。
!NO CARD	スマートメディアが入っていない、または入れている向きが間違っている。	スマートメディアを入れるか、スマートメディアの向きを直してください。
!CARD NOT INITIALIZED	スマートメディアがフォーマット（初期化）されていない。	スマートメディアをフォーマットしてください。
!CARD ERROR	●スマートメディアの接触面が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●スマートメディアのフォーマットが異常。	スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。
!CARD FULL	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。
!PROTECTED CARD	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。
!FRAME ERROR	正常に記録されていないデータを再生した。	再生することはできません。
!READ ERROR	カメラで記録したデータ以外のコマを再生した。	再生することはできません。

警告表示	警告内容	処　　置
!FILE LIMIT	コマNo.が999ー9999に達している。	コマNo.メモリー機能をOFFにして、フォーマットしたスマートメディアに撮影してください。引き続きコマNo.メモリー機能を使用する場合には、コマNo.が100ー0001から撮影されます。1コマ撮影してからコマNo.メモリー機能をONにしてください。
(手ブレ警告マーク)	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボを強制発光にしてください。または三脚を使用してください。
!PROTECTED FRAME	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトを解除してください。
!PRINT ORDERED FRAME	DPOF設定されたファイル。	DPOF設定を解除してください。その後、プロテクトを解除できます。
RESET UNMATCHED DPOF OK?	DPOFファイルにエラーがある。または、他の機器で設定したDPOFファイル。	DPOFファイルを新しく作成し、DPOF設定をすべてやり直す場合は“ MENU/EXE ”ボタンを押してください。
!DPOF FILE ERROR	DPOFのコマ設定で999コマ以上のプリント指定をした。	同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。
!NOT 1280X960	1280×960以外の画像をリサイズしようとした。	リサイズすることはできません。
⚠ AE	ストロボの夜景モードで露出オーバーになることがあります。	ストロボを夜景モード以外にしてください。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前に、もう一度お調べください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●新しい電池と交換する。 ●電源プラグをコンセントに差し込む。
電源が途中で切れる。	●電池が消耗している。	●新しい電池と交換する。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの接触面が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●オートパワーオフになり、電源が入っていない。 ●電池が消耗している。	●スマートメディアを入れる。 ●新しいスマートメディアを入れるか、コマを消去する。 ●誤記録防止状態を解除する。 ●フォーマットする。 ●スマートメディアの接触面を乾いたきれいな布でふく。 ●新しいスマートメディアを入れる。 ●電源を入れる。 ●新しい電池と交換する。
ストロボ撮影ができない。	●モードダイヤルの設定位置がずれている。 ●ストロボ発光禁止モードになっている。	●モードダイヤルを正しい位置に設定する。 ●ストロボをオート、赤目軽減、強制発光または夜景モードにする。

症　　状	原　　因	処　　置
ストロボ撮影ができない。	●ファインダーランプが橙色の点滅中にシャッターボタンを押した。	●ファインダーランプが緑色の点灯になってからシャッターボタンを押す。
ストロボの充電ができない。	●記録できるスマートメディアが入っていない。 ●ストロボ発光禁止モードになっている。 ●電池が消耗している。	●新しいスマートメディアを入れる、コマを消去する、誤記録防止状態を解除する。 ●ストロボをオート、赤目軽減、強制発光または夜景モードにする。 ●新しい電池と交換する。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボに指がかかっている。	●被写体に近づく。 ●カメラを正しく構える。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●マクロモードで遠景を撮影した。	●レンズを清掃する。 ●マクロモードを解除する。
スマートメディアのフォーマットができない。	●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	●誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。
全コマの消去ができない。	●コマがプロテクトされている。	●プロテクトを解除する。
カメラのボタンやスイッチを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動。 ●モードダイヤルの設定位置がずれている。 ●電池が消耗している。	●電源（電池）をいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。 ●モードダイヤルを正しい位置に設定する。 ●新しい電池と交換する。
電源を入れても液晶モニターに画像が表示されない。	●モードダイヤルの設定位置がずれている。	●モードダイヤルを正しい位置に設定する。

主な仕様

システム

●型式
デジタルカメラ

●記録メディア
スマートメディア（3.3V仕様）

●スマートメディア標準撮影枚数
＊撮影枚数は被写体により多少の増減があります。また、撮影枚数はスマートメディア容量が大きくなるほど、標準撮影枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	1280×960			640×480		
画質モード	FINE	NORMAL	BASIC	FINE	NORMAL	BASIC
画像圧縮率	約1/4	約1/8	約1/16	約1/4	約1/8	約1/16
画像1枚のデータサイズ	約610KB	約310KB	約160KB	約160KB	約90KB	約50KB
MG-4S（4MB）	6	12	23	23	44	69
MG-8S（8MB）	12	24	46	46	89	141
MG-16S（16MB）	25	49	89	89	163	246
MG-32S（32MB）	50	99	180	180	330	496
MG-64S（64MB）	101	198	361	361	663	995

本カメラで再生時に扱える画像は1000コマまでです。
1枚のスマートメディアに記録する画像は、1000コマ以下としてください（詳しくは、13ページをご参照ください）。

●記録方式
DCF準拠（Exif Ver.2.1 JPEG準拠）/DPOF対応

●記録画素数
1,280×960ピクセル/640×480ピクセル

●撮像素子
1/2.7インチ正方画素原色インターライン方式CCD
総画素数：約131万

●撮像感度
ISO 160相当

●レンズ
フジノン単焦点レンズ F4.5/F11

●焦点距離
f＝5.8mm（35mmカメラ換算 38mm相当）

●ファインダー
実像式光学ファインダー、視野率：約80％

●露出制御
TTL64分割測光、プログラムAE（マニュアル撮影時：露出補正可能）

●ホワイトバランス
オート（マニュアル撮影時：7ポジション選択可能）

●撮影可能範囲
標準　：約70cm〜無限遠
マクロ：約10cm

●シャッター速度
可変速　1/2秒〜1/750秒（メカニカルシャッター併用）

●絞り
F4.5/F11 自動切り換え

●セルフタイマー
タイマー時間約10秒

●**消去方式**
1コマ消去・全コマ消去・フォーマット（初期化）

●**液晶モニター**
1.6インチ 5.5万画素 D-TFD

●**ストロボ**
調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離：約0.7m〜2.5m
発光モード　：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/夜景

入・出力端子

●**DIGITAL（RS-232C、RS-422）端子**
ステレオミニミニ（φ2.5mm）ジャック（1）
パソコンとのデータの送受信

●**DC入力端子**
専用ACパワーアダプター AC-5V接続

電源部、その他

●**電源**
単3形アルカリ乾電池 4本使用
単3形ニッケル水素電池 4本使用（別売）
単3形ニカド電池 4本使用（別売）
専用ACパワーアダプター AC-5V使用（別売）

●**電池撮影可能枚数**（充電池はフル充電した場合）
＊常温でストロボ使用率50％の場合の、連続して撮影できる枚数のめやすです。ただし、カメラの使用環境温度や電池充電量のバラツキによる変動はあります。

電池の種類	液晶モニター ON状態	液晶モニター OFF状態
アルカリ乾電池 LR6	約 200枚	約 500枚
ニカド電池 KR-AA（HP）	約 130枚	約 400枚
ニッケル水素電池 HR-AA	約 200枚	約 500枚

●**使用条件**
温度0℃〜＋40℃ 湿度80％以下（結露しないこと）

●**本体外形寸法**
110×77×33mm（幅/高さ/奥行き）（突起部含まず）

●**本体質量**
約200g（電池、スマートメディア含まず）

●**撮影時質量**
約300g（電池、スマートメディア含む）

●**付属品**
5ページをご覧ください。

●**別売アクセサリー**
64、65ページをご覧ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

■それでも調子が悪いときはサービスステーションへ

お買上げ店、またはフジサービスステーションにご相談ください。

■保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添付してください。
- お買上げ店やフジサービスステーションの窓口で、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金が高く見込まれる修理のときは、「○○○○円以上は連絡してほしい」と料金をご指定ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
- 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
- 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱に入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
- 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので普通修理品の場合はフジサービスステーションで、お預かりしてから通常7～14日位をご予定ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

■型名　　　：FinePix1200
■故障の状況 ：できるだけ詳しく
■ご購入年月日